



挑戦と感謝の心を胸に

校長 中村 真人

朝夕の冷え込みに冬の訪れを感じるこの頃、校内では駅伝大会に向けて子どもたちがグラウンドを駆ける姿が見られました。授業や朝ラン、自主練習を通して、一人ひとりが目標タイムを設定し、自己ベストを目指して努力する姿は本当に頼もしく、私たちに大きな感動を与えてくれました。大会当日は、仲間と声を掛け合いながら、地域の方々の声援を受けて、最後まで走り抜く姿に、挑戦する勇気と支え合う力の大切さを改めて感じました。目標を達成できた人も、できなかつた人も、チャレンジすることの素晴らしさを体感できたのではないでしょうか。この経験を次の挑戦へつなげてほしいと思います。

そんな折、先日、朝正門付近を掃除していたとき、登校してきた先生方や児童生徒たちから「ありがとうございます」とたくさん声をかけられました。特別誰かのためというわけではなかったのですが、とてもうれしい気持ちになりました。

ところで、この「ありがとうございます」という言葉の語源をご存じでしょうか。「ありがとうございます」は古語の「有り難し（ありがたし）」から生まれた言葉で、「有ることが難しい」、つまり「めったにない」「貴重だ」という意味を持っています。誰かの親切や思いやりは、決して当たり前ではなく、貴重なもの。その心を言葉にしたのが「ありがとうございます」なのです。何事にも感謝し、「ありがとうございます」と言えることは本当に素晴らしいことだと思います。

2025年も残りわずかとなりました。今年一年を振り返ると、私たちは多くの「ありがとうございます」に支えられてきたことに気づきます。応援してくれる家族や地域の方々、共に学び合う仲間、そして日々子どもたちを見守る先生方。誰かの存在や言葉が、挑戦を後押しし、笑顔を生み出してきました。「ありがとうございます」は単なる挨拶ではなく、相手を思う心を形にする言葉です。この一年の感謝を胸に、これからも互いに『ありがとうございます』を大切にし、伝え合える学園でありたいと思います。

最後に、みなさん、良いお年をお迎えください。3学期、成長したみなさんに会えるのを楽しみにしています。

＜ご寄贈へのお礼＞

今月、森山（清）組様より、児童生徒にクリスマスケーキをいただきました。子どもたちは笑顔いっぱいで、楽しいひとときを過ごすことができました。

また、嘉村靖子様からは「りんご」「ぐるりんまるちゃん」「へんしんまるちゃん」の絵本をご寄贈いただきました。子どもたちの読書活動に活用し、心豊かな学びにつなげてまいります。

さらに、昭和産業様からは食用油をご提供いただきました。給食調理に大切に使わせていただきます。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後とも子どもたちの健やかな成長のため、ご理解とご協力をお願ひいたします。



＜心の教育の日＞～道徳授業参観～

人権週間の取組の一環で道徳の授業参観を行いました。教室では、子どもたちが相手の言葉にじっくり耳を傾け、自分の思いを丁寧に言葉にする姿が見られました。互いの考えに触れながら、新たな視点や気づきを得て深まっていく温かな学びの時間でした。



＜校内駅伝大会を開催しました＞

13日（土）、校内駅伝大会を実施しました。

これまでの朝ランや試走の成果を発揮し、一生懸命に走る姿がとても印象的でした。沿道からの温かい声援に背中を押され、最後まで力いっぱい走り抜けることができました。応援・参加してくださった地域の皆様、ありがとうございました。



＜中払大介さんと夢の時間＞

10日（水）、アスリート派遣事業の一環として、元プロサッカー選手の中払大介さんをお招きし、サッカー教室を開催しました。子どもたちはプロの技や言葉に目を輝かせながら、サッカーの楽しさや、夢をあきらめずに挑戦し続けることの大切さを学びました。グラウンドには笑顔があふれ、ボールを追いかける一人ひとりの姿がとても輝いていました。中払さんとの時間は、子どもたちの心に残る“夢のようなひととき”となりました。中払大介さん、本当にありがとうございました。



インスタ
フォロー
してね

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく